

東京 稲城の台地に  
屹立する  
駒沢女子大学



玲瓏池より望む大学館(地上7階、地下2階)







新しい天地に伸展する  
駒沢学園(東京都稲城市)



祖)〉 (日本芸術院会員・大内青圃 作)を奉安 —



グラスマン・テツゲン老師は、アメリカに禅を説くこと40年、その一生を捧げた故前角博雄老師の高弟である。

テツゲン宰老師は、ロサンゼルスの中にもおよそ28万坪にもおよぶ境内を有する禅の修行道場を宰し、ニューヨークの市街地に禅コミュニティを設けてエイズ感染者の援助、ホームレス対策、保育園の開設など社会福祉事業にとりくみ、将来、マエズミ仏教大学を創立して駒沢女子大学と提携したいというビジョンをいだいている。昨年、故前角老師がその永年の功績によってニューヨーク市立大学を創立した一人ハリス氏を記念して設けられたハリス記念賞を受賞したことを、訪れたシールズ教授から報告されて、あらためて国際的親近感をおぼえた私であった。

(駒沢女子大学学長代理 東 隆眞)

# 駒沢学園記念講堂(間口、奥行50m、高さ32m)

— 一仏両祖 <釈迦牟尼仏(本尊)道元禪師(高祖)瑩山禪師



## 国際交流の拠点をめざして

仏教主義教育を建学の理念とし、国際交流によって新しい世界をめざす駒沢女子大学は、平成5年に第一歩をふみ出した。

このほどイギリス、エジンバラ大学ダンカン教授の短期留学、アメリカ、ニューヨーク市立大学のシールズ、ガーシュ両教授ら20名の来校、ロサンゼルス禅センターのグラスマン・テツゲン老師ら一行の訪問、またカリフォルニア大学のウィリアム・ボディフォード教授らの来学などがつづいた。駒沢女子大学は、仏教や日本の禅文化と海外の異文化との交流のセンターとしての役割りをそなえつつある。



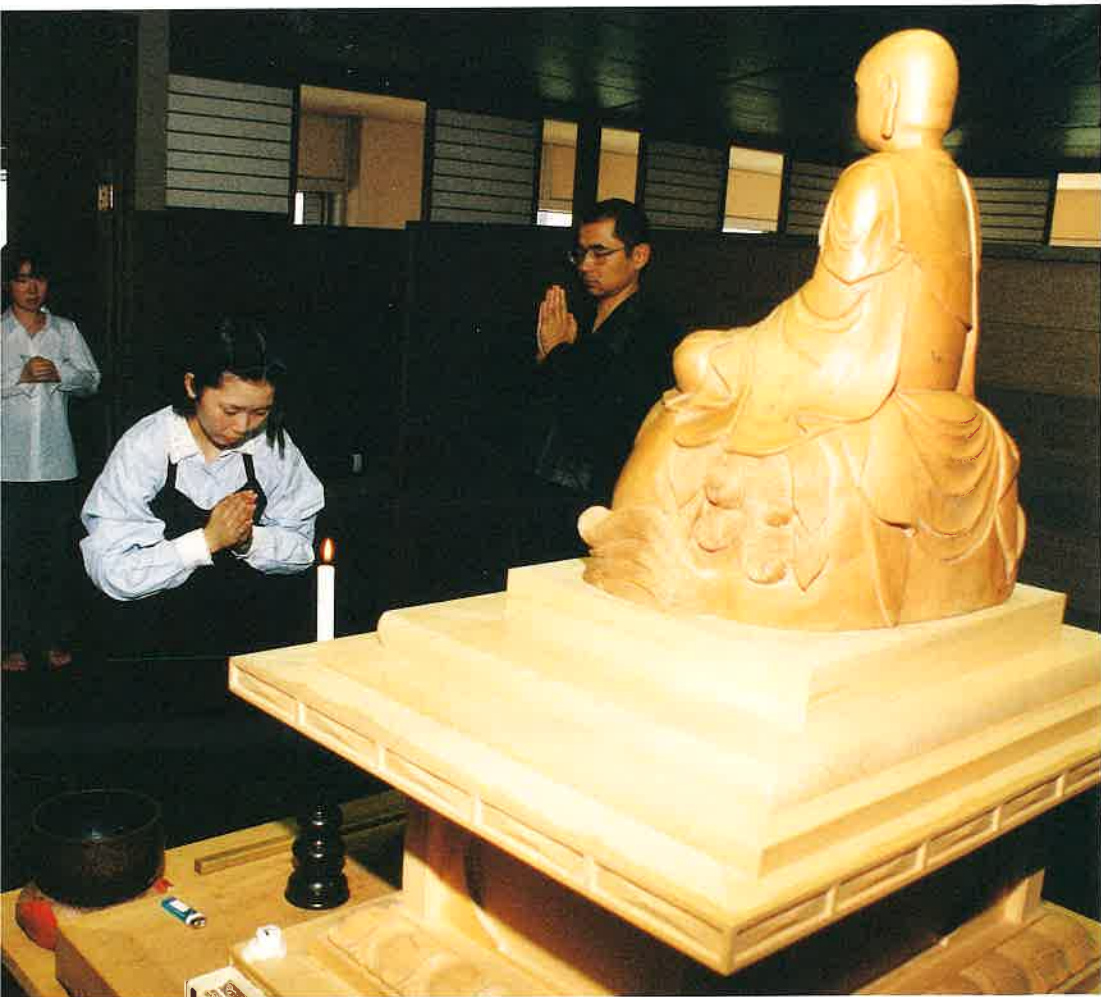
学校法人駒澤学園



▲学園主猊下(大本山永平寺宮崎奕保貫首・左)と上田祖峯理事長・学  
長(中央)と東隆眞学長代理・校長(右)



◀ ジョーンズ先生の英会話の講義



文殊菩薩(智慧の菩薩)に合掌・礼拝(照心館・坐禅堂)



まず坐相を端正に



坐はすなわちこれ自己の正体なり

—正法眼蔵随問記—